

平成 28 年度播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事概要

日 時	平成 29 年 3 月 29 日 (水) 13 : 30~15 : 30
場 所	播磨町役場第 1 庁舎 3 階 BC 会議室及び大中遺跡公園
出席者	<p>【播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員】</p> <p>松井 昭雄 (商工会) 大亀 亨 (商店主) 川崎 慎吾 (東播磨県民局 副局長) 藤谷 淳一 (加古川公共職業安定所 次長) 笹田 哲男 (兵庫大学短期大学部 保育科教授) 大塚 毅彦 (明石工業高等専門学校 建築学科教授) 榎山 春夫 (みなと銀行 本荘支店 支店長) 田畑 道昭 (神戸新聞社 東播支社 支社長) 北 幸治 (労働者福祉協議会 副会長) 荒谷 ふみ子 (住民代表)</p> <p>【事務局】</p> <p>清水 ひろ子 (町長) 三村 隆史 (副町長) 角田 英明 (理事) 浅原 俊也 (理事) 福田 宜克 (理事) 赤田 清純 (理事) 高倉 正剛 (理事) 岡本 浩一 (企画グループ統括) 松本 弘毅 (企画グループリーダー) 岡本 光嗣 (企画グループ主査)</p>
欠席者	<p>【播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員】</p> <p>田中 靖宏 (新島連絡協議会 会長) 諸鹿 良治 (住民代表)</p>

◆ 開会

事務局) ご案内の時間がまいりましたので、只今より平成 28 年度播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を開催いたします。

まず、播磨町長 清水ひろ子より、ごあいさつ申しあげます。

(町長挨拶)

事務局) 続きまして、事務局より本日出席の皆様をご紹介させていただきます。

(委員及び事務局紹介)

◆ 協議事項

会長) それでは、会議の次第に沿って審議を進めていきます。まず、協議事項(1)

「播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略の主要施策の取組状況」について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 主要施策の取組状況の説明)

会長) まず基本目標 1 の結婚・出産・子育て関連事業について、意見・質問等はございませんか。

委員) 事業番号 9 「はりま出会いサポート事業」の実績についてですが、成立カップル数はどれくらいでしょうか。

事務局) 6 月開催分で 8 組、1 2 月開催分で 9 組が成立しています。

委員) 事業番号 7 「子育て世代包括支援事業」、事業番号 8 「子育てコンシェルジュの配置」の実績については、どのように捉えていらっしゃいますか。

町長) 生まれる前から義務教育修了までの子育てに対する継続した支援を目的としていますが、すぐに成果が上がるものではないと思っています。相談窓口もわかりやすくなりましたが、今後、いろいろなサービスを付加していく予定であり、末永く活用してもらいたいと考えています。

理事) こども窓口に専任の保健師や子育てコンシェルジュを配置し、子育てに関するワンストップ・サービスの提供に取り組んでいます。子育て支援につながりができ、相談もしやすくなったと思っています。また、子どもが生まれた後も、保健師が家庭を訪問し

て、相談を受けたりしています。

委員) 素晴らしい事業なので、一人でも多くの方に知られるよう、積極的な広報活動を展開していただきたいと思います。

町長) 子育て支援センターも活発に活動しており、母子手帳配布時には父子手帳や子育てハンドブックもお渡ししています。広報誌においても、子育て支援のコーナーを設け、検診時には関連情報を提供しております。今後は、ホームページについても、もっとわかりやすい内容にすることを工夫して、周知に努めたいと思っています。

会長) 次に、基本目標2の安全・安心対策事業等についての意見・質問はございませんか。

委員) 事業番号14「コミュニティバス運行事業」において、28年度は事業者の決定に至らなかった理由については、どのようなことが考えられるのでしょうか。

理事) 昨年5月に公募しましたが応募がありませんでしたので、仕様書を一部変更し、8月に2回目の公募を行いました。1団体の応募がありましたが、選定委員会で協議した結果、特に車両の面で仕様書と合致しておらず事業者決定には至りませんでした。3回目の公募を今年2月に行い、現在選定中でございます。

会長) 基本目標3の産業振興関係の事業については、いかがでしょうか。

委員) 事業番号18「開発特産品の認定」についての提案ですが、認定した商品を“兵庫の逸品”に出品してはどうでしょうか。逸品に認定されれば、バイヤーが集まる会合で、その品が商談の対象となります。そのような制度があることを商工会にもお伝えいただきたいです。

理事) 県に推薦するような仕組みを商工会と相談して検討していきたいと思います。

委員) 逸品は“五つ星ひょうご”というもので、東播磨の物産や食器などもあります。

先日販売会もあったので、大きな組織を使うのもいいかと思います。また、ふるさと納税の返礼品としても検討してはどうかと思います。

町長) 商工会にお願いはしておりますが、他自治体の商品と太刀打ちできるくらいのものが育っていません。播磨町は生産より消費の町です。ふるさと納税の返礼についても、品物だけではなく体験等のサービスも含めて検討しております。今後の研究課題となっています。

会長) 最後に、基本目標4の「ひと」の交流・移住・定住関係の事業について、意見・質問等はございませんか。

委員) 事業番号27「コンパクトシティはりま(大中遺跡AR制作)」についてですが、来場者数増加についての計画や検証を行っているのでしょうか。また、目標値は設定されているのでしょうか。

事務局) 大中遺跡ARは先月(2月)公開したばかりで、アプリのダウンロード数は200件くらいでしたが、4~5月には小学校で弥生時代の学習が行われますので、これから期待できると思います。目標値等につきましては、ツアーの開催数、参加者数を設定しておりまして、後ほど、説明させていただきます。

会長) それでは、協議事項(2)「播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの進捗状況」について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIの進捗状況の説明)

町長) 基本目標4の取組施策「観光入り込み客数」「年間ツアー実施数」「ツアー参加者数」について補足説明をさせていただくと、平成29年は、町制施行55周年、大中遺跡が発見されて同じく55年、大中遺跡が国指定史跡となって50年、県立考古博物館開館10周年と、大きな節目を迎える年となっております。考古博物館とも協議し、歴史と文化が息づく本町をより魅力的な町にするための施策を検討しながら、多くの方に来ていただける事業を考えていきたいと思っております。

会長) KPI進捗状況の説明を受けた上で、主要施策の取組状況について、なお、委員各位からの意見をいただきたいと思っております。

委員) 在宅ワークの拡充、「クラウドソーシング&クラウドファンディング」の利活用については、もっと可能性があると思います。また「同窓会支援事業」についても、播磨町出身者は、お金の面でも知恵の面でも町に貢献したい気持ちが強いと思うので、充実化すべきと考えます。JR土山駅南交流スペースを、「ひと」の集まる場として重視し、積極的・継続的に活用することが肝要であると思います。

会長) 「しごと」創生に関して、意見はございませんか。

委員) 産業PRの映像を見てもらう機会が少ないので、ARツアー参加者に、この映像も見てもらい、町の産業PRができればよいと思います。

町長) JR土山駅南交流スペース(愛称:きつずなホール)にある大型スクリーンでは、常時、映像を流しています。映像は子どもたちにも親しみやすいものであり、今後はできるだけ多くの企業にご協力いただき、普段見られない工場の様子などを、スクリーン

に映し出せたらと考えています。

町内の石ヶ池パークセンターにも、此の度、モニターを設置しました。さまざまな機会を捉えて、産業 PR にも努めていきたいと思っています。

会長) その他、質問等がありましたら、ご発言ください。

委員) 「企業誘致事業」の取組状況の箇所、「新島の空き区画は全て埋まっている」とありますが、これは、すべて契約済みということですか。

理事) 所有者が決まっているということです。緑地面積に関しては、人工島という地域の特殊性を考慮し、1%に緩和しました。企業誘致は、難しい状況となっており、転入があれば税制面で優遇しますが、先ずは、転出がないよう努めているところです。

町長) 緑地面積についての緩和により、敷地内に工場を建設するなど設備投資を行う企業もあるようで、雇用の拡大を期待しています。新規参入がなくても、現存の企業で最大限の敷地活用ができればと思っています。

会長) 他に、ご意見等、ありませんでしょうか。

委員) 商工会でも、異業種間の協力による商品の開発を計画しています。播磨町といえば大中遺跡なので、古代米を使った、おいしくて体に良い商品を検討しています。まちづくりコンサルタントの協力を得ながら、顧客開拓やデザイン開発についての研究を進めています。

委員) 「住宅リフォーム助成制度」の利用状況についての質問ですが、助成の総額は予算額のどれくらいを占めているのですか。また、「土山駅南防災公園整備事業」についてですが、防災フェスタは、たくさんの方に知ってもらったほうが良いイベントだと思うので、兵庫県や NPO 団体等との共催で実施してはどうでしょうか。

町長) 防災フェスタは大和リースが実施する集客イベントであり、播磨町との共催という形で行われました。今後、他のイベントについても、必要であるなら、共催という形を検討していきたいと思っています。

理事) 「住宅リフォーム助成制度」の実施にあたっては、予算額の約 90%を執行しています。申請が多い場合は補正予算で対応したり、工事が 4 月までかかるようなら次年度に申請していただくようお願いしたりしています。今後も、財源を考慮しながら、できるだけこの事業を続けたいと考えています。

町長) 事業効果は、年間約 1 億円です。

